



おぐら
尾倉

<校訓>
自主
創造
協力



令和4年12月5日(月)発行
校長 栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなでつくる尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
 - ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
 - ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

第74回人権週間 令和4年12月4日(日)～12月10日

みなさん、こんにちは。毎年、12月4日から10日までの1週間は、「人権週間」といって、人が生まれながらにもっている権利についてしっかりと考える期間になっています。

「人権週間」は世界共通で、今年で、74回目になります。「人権週間」を簡単に言えば、みなさん一人一人が、人として大切にされているかを、いつもよりもっと気にして過ごす1週間ということになります。人は、生まれながらにだれでもが自由で平等で、一人一人、全ての人が大切な人です。だから、誰が偉くて、誰が偉くないとか、何かができるから偉くて、何かができないから偉くないなどと、人を差別するのは、許されないことです。尾倉中のみなさんはどうでしょうか。人のいやがることを、したり言ったりしていませんか。自分と違うからと人をからかったり笑ったりしていませんか。人はみんな違って当たり前です。誰一人として同じ人はいません。お互いを認め合い、相手の気持ちを大切にしましょう。

学校では、差別のことを「いじめ」と言います。校長先生は、いじめに勝つには、みなさんのたくさんの「思いやりの気持ち」を集めることが大切だと思っています。「思いやりの気持ち」これは、人間にしかない温かくて素晴らしいものです。

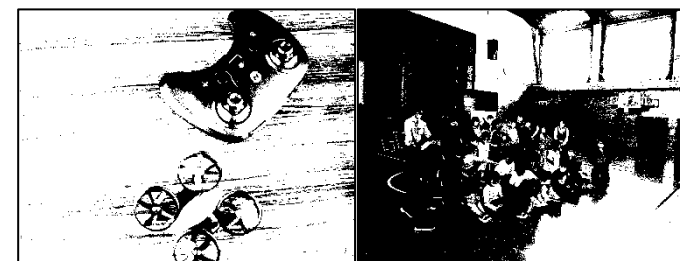
そのために大切なことは、「気付き、考え、行動する」ということです。「気付く」というのは、相手の気持ちに気付くこと、友達の痛みに気付くことです。気付いたら、次に自分はどうすればよいかを考えること、そして最後に、行動することです。みなさんの全員が「気付き、考え、行動する」ことを忘れなければ、尾倉中学校は、「思いやりの気持ち」が一杯の素晴らしい学校になります。そんな学校になったとき、尾倉中学校は素晴らしい学校になり、みなさん一人一人が輝く学校になるはずですよ。ぜひ、この人権週間の間に、友だちや家族、先生から言われて嬉しかったこと、友だちや家族、先生からしてもらって嬉しかったことを思い出してください。

まだまだ不自由な学校生活が続くとは思いますが、みなさんで考え、行動し、その中でできることや楽しみを見つけてください。学校に通えること、勉強や部活動、習い事ができることに感謝しながら、笑顔忘れず、尾倉中全員で頑張りましょう。

今日は人権週間における大事な話をしました。これで、校長先生の話が終わります。

ドローン体験学習(皿倉小)

11月28日(月)皿倉小学校でドローン体験学習がありました。本校からは3組の生徒が参加しました。ドローンは、機種によってはプログラミングでの自動飛行も可能です。プログラミングと聞くと難しそうですが、「プログラミング思考(思考力・判断力・表現力等)」を養うトレーニングとなります。ご存じのように、2020年度から小学校で必修化されており、中学校でも2021年から「技術・家庭科」の授業で導入されています。



ドローン体験学習のあとは、小学生とドッジボールで交流を深めることができました。

- ドローンを操作して移動が難しいと思いました。楽しかったです。ドッジボールも楽しかったです。またしたいです。
- 今日、ドローン体験をしてとても楽しかったです。最後にしたドッジボールも久々にしてとても楽しく、みんなとの仲を深められた気がしました。
- 初めてのドローンをしたのですごく楽しかったです。また、いつかドローンをしてみたいです。